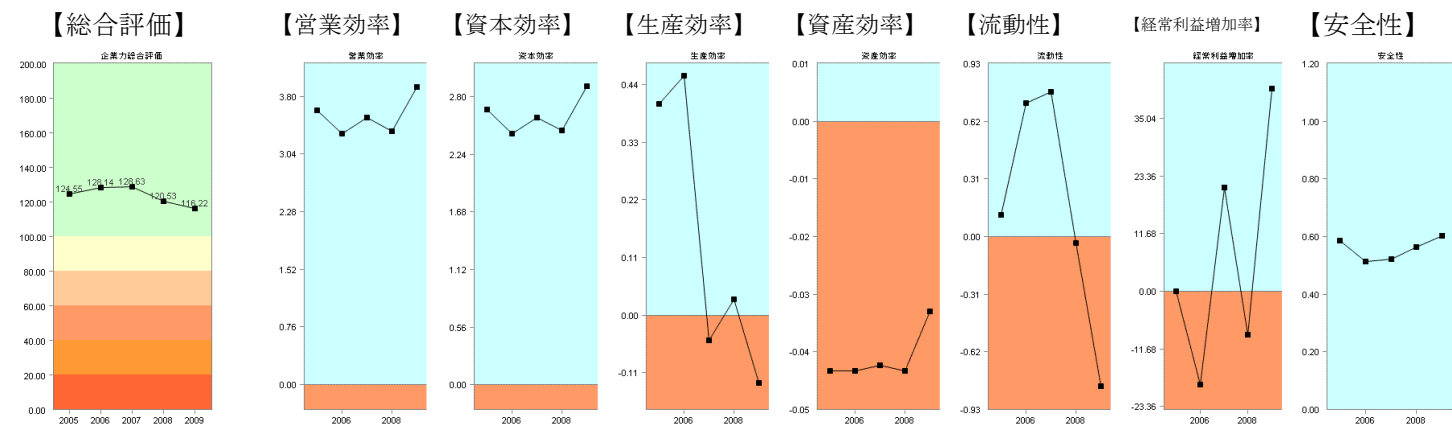


今回はオリエンタルランドを分析してみましょ。東京ディズニーランドのチケット代は他のテーマパークより高いため、デフレ、節約志向の現在はどうなっているのでしょうか。ミッキーが不景気でシヨンボリしていたのでは、夢がありませんね。



総合評価は 120 ポイント台から 2009 年 3 月期に 116 ポイントに落としました。下落原因は営業効率から安全性までの親指標のうち、急激に下落している指標です。

生産効率（人の利用度の指標）、流動性（短期資金繰り指標）の下落が総合評価を下落させた原因であることが分ります。

営業効率（儲かるかの指標）、資本効率（資本の利用度の指標）、資産効率（資産の利用度の指標）、安全性（長期資金繰り指標）などは改善していますから、それらを相殺してもなお、総合評価を引き下げた訳です。

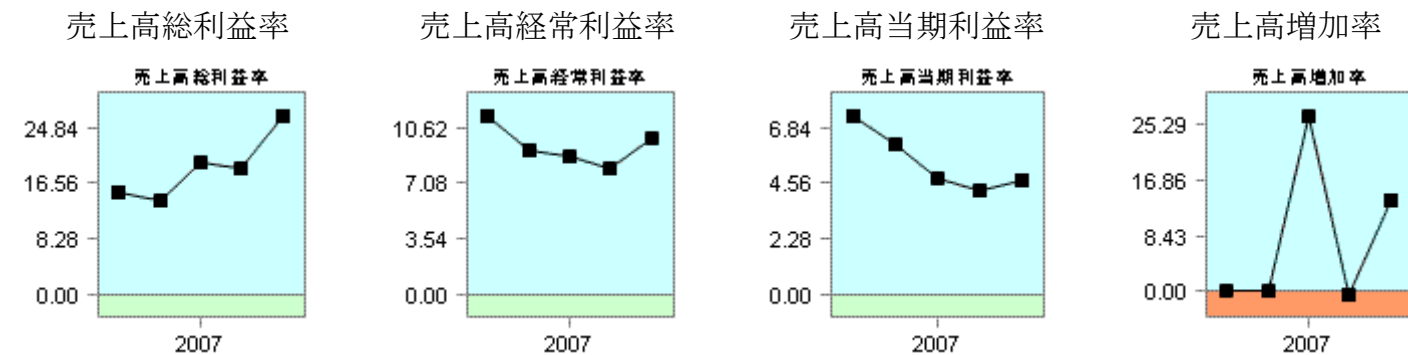
流動性の下位指標 単位: 百万円・%

| | 2005年3月 | 2006年3月 | 2007年3月 | 2008年3月 | 2009年3月 | 2009年減少額 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 流動負債合計 | 71,280 | 93,751 | 73,520 | 169,907 | 111,207 | △ 58,700 |
| 流動資産合計 | 81,284 | 127,290 | 103,725 | 180,554 | 88,199 | △ 92,355 |
| 流動比率 | 114.03 | 135.77 | 141.08 | 106.27 | 79.31 | |
| 当座資産 | 64,655 | 96,840 | 82,075 | 157,975 | 66,636 | △ 91,339 |
| 当座比率 | 90.71 | 103.29 | 111.64 | 92.98 | 59.92 | |
| 現金預金 | 46,181 | 46,351 | 25,393 | 52,403 | 15,420 | △ 36,983 |
| 現金預金比率 | 64.79 | 49.44 | 34.54 | 30.84 | 13.87 | |

比率指標は中央に配置している。

2009 年 3 月の流動性の下落は、第 1 回無担保社債の償還（100,000 百万円）により、流動負債が減少し、有価証券・現金預金などを減少させたために起こりました。また、2009 年 5 月に第 6 回無担保社債 20,000 百万円の償還予定があり、ワンイヤールールにより固定負債から流動負債に振替えました。2009 年 3 月の流動資産が 92,355 百万円減少に対し、流動負債の減少は少なくなっています。わずか 1 年あまりの間に 120,000 百万円の巨額な社債償還があり、流動比率は赤信号領域にハマってしまいました。

営業効率の下位指標（売上高総利益率、売上高経常利益率、売上高当期利益率）と、売上高増加率のグラフを見ていきましょう。



営業効率は反転しながらも改善トレンドです。改善トレンドを牽引しているのは売上高総利益率です。グラフを見比べていて、何か気付きませんでしたか。そう、売上高増加率がプラスの時、売上高総利益率が増加しているのです。何が起きているのでしょうか。

営業効率の下位指標を示しておきます。

営業効率の下位指標 単位: 百万円・%

| | 2005年3月 | 2006年3月 | 2007年3月 | 2008年3月 | 2009年3月 |
|----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 売上高合計 | 271,435 | 272,039 | 344,082 | 342,421 | 389,242 |
| 売上総利益 | 41,220 | 37,862 | 67,227 | 64,548 | 103,092 |
| 売上高総利益率 | 15.19 | 13.92 | 19.54 | 18.85 | 26.49 |
| 営業利益 | 27,299 | 23,755 | 34,111 | 31,145 | 40,097 |
| 売上高営業利益率 | 10.06 | 8.73 | 9.91 | 9.10 | 10.30 |
| 経常利益 | 30,780 | 24,950 | 30,188 | 27,511 | 38,825 |
| 売上高経常利益率 | 11.34 | 9.17 | 8.77 | 8.03 | 9.97 |
| 当期利益 | 19,811 | 16,680 | 16,310 | 14,733 | 18,089 |
| 売上高当期利益率 | 7.30 | 6.13 | 4.74 | 4.30 | 4.65 |

比率指標は中央に配置している。

2007 年、2009 年の売上高が増加したのは、テーマパーク事業（ホテル事業を含む）です。2007 年、東京ディズニーシーでは、7 月よりスタートした東京ディズニーシー 5th アニバーサリーで 12,867 百万円増加、2009 年は、東京ディズニーリゾート 25th アニバーサリーのイベント実施により 61,487 百万円増加しました。

テーマパークの入場者数やホテル宿泊者の増加により、売上が上がり、売上高総利益率の急改善が起こっています。既存事業の売上を上げると売上総利益率は改善します。平たくいえば「商品を磨く」かもしれません。

東京ディズニーランドを磨きながら、新規事業（シルク・ドゥ・ソレイユ シアター東京、イクスピアリなど）も立ち上げて、次の成長を狙っています。

まとめ

他社の成功を調べる場合、数字で「成長しているかどうか」を検証すべきでしょう。この場合、「売上が上がっている」だけではいけません。売上が上がっていても「売上高利益率が下がった」「流動性が悪化した」など総合的に見れば、企業力総合評価は下がっているかもしれません。お正月休みにご覧ください。

「トップコンサルタントの計数力」同友館 ¥1,680



編集後記 仕事帰りに東京ディズニーランド帰りの家族連れを見つけます。今度、娘を誘って行ってみよう!!!

来年もよろしくお願いたします。(^^)~~~~

文責 JY

541-0054 大阪市中央区南本町 2-3-12 エイディビル 12 階 株式会社 SPLENDID21

tel 06-6265-8621 fax 06-4964-4164 info@sp-21.com <http://sp-21.com>